

確実な施工体制の確保に向けて ～『フレームワークモデル工事』を試行します。～

頻発する自然災害の復旧に工事が集中し、競争参加者が少なくなることを想定し、受注者・発注者双方の施工体制確保に向けて、該当する複数の工事（フレームワーク）について、あらかじめ参加希望者の意思を確認し、施工能力を審査した上で、特定工事参加企業名簿を作成、その中から、複数の工事参加者を指名する「フレームワークモデル工事（総合評価落札方式）」を試行します。

今回公表する案件に係わる資料については、富山河川国道事務所ホームページ「お知らせ」及び下記アドレスに公表しています。

◆富山河川国道事務所ホームページ

http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/topics_history_15_154.html

※フレームワークモデル工事とは、北陸地方整備局（港湾空港関係に関することを除く。）における平成31・32年度一般競争（指名競争）入札参加資格業者に指名競争入札工事への参加希望者を募り、参加意思表示等を提出した者を対象に指名基準により選定を行った上で、指名競争入札を行う試行工事です。

お問い合わせ先



■工事品質管理官 谷口 和哉 Tel：076-443-4701（代表）

国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所
〒930-8537 富山市奥田新町2番1号

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toyama/>

https://twitter.com/mlit_toyama

【北陸版】フレームワークモデル工事(試行)の運用について

- 一定の地域内で類似する複数の工事について、予め参加希望者の意思を確認し、その中から工事毎の参加者を指名する「フレームワークモデル工事(総合評価落札方式)」を試行。
- 工事発注が一定の地域で集中し、技術者の確保が難しく、競争参加技術者が少数と見込まれる工事において試行。
- 提出資料を簡素化・合理化し、手続き期間を短縮することで、入札参加者の増加を見込む。

フレームワークモデル工事(総合評価落札方式)の手続きフロー

